



# 美山中学校だより



どうぞ よいお年  
をお迎えください

## 学びからの成長が見られた2学期でした

先週末から一段と冷え込みがきびしくなり、冬の備えをせき立てられるようでした。今年は雪が少ないという予報ながら、カメムシは多かったなあと思ったりしています。年の瀬、何かと慌ただしい日々をお過ごしのことと存じます。日頃は、本校の教育活動にご理解とご支援をいただき、誠にありがとうございます。



さて、8月末に始業した2学期も22日(金)をもって終業いたします。様々なイベントをほぼ従来の形で実施することができ、子どもたちはその取組を通して多くの学びがあり、様々な思い出を作り達成感を味わいました。



進路希望を決定した3年生の面談の中で中学校で印象に残っていることを問うと、体育祭・文化祭を挙げるものがほとんどであり、それだけエネルギーを注ぎ、得るものが多い取組であったことが窺えます。1・2年生も同様に行事を通して多くの学びに加えて、ふるさと学習や職場体験学習において多く



の地域の方々の支援により進めた学習から、関わっていただいた皆様の生き方に触れ、思いやりやふるさとへの愛着を学び感じ取ったこと、自らの生き方をしっかり考えたことが成果の発表から伝わりました。また、世代交代した部活動も充実した取組ができました。長くめまぐるしい2学期でしたが、その中から得た学びと成長を締めくくりの3学期につなげてほしいと思います。



## よりよい学校にと生徒会役員選挙

11月末の告示、立候補受付、選挙活動を経て、12月11日(月)に次期生徒会役員立会演説会及び投票が行われました。本部・執行部役員候補者が、公約を掲げよりよい学校づくりへの思いを伝えました。事前の準備や当日の運営は選挙管理委員が責任を持ってあたり、整然と進められました。投票用具は市役所から借用したもので、緊張感の中で、無事投票を終え、以下の新役員が決定しました。入試に向け励む3年生に代わり、新役員がよりよい美山中にしようと意気込んでいます。



会長	小野 藍	図書部長	登尾 識
副会長	林 美緒	文化広報部長	大下 希実
議長	中川 陽音	体育部長	岡本 遥輝
	木村 優香	環境福祉部長	前田 昞志
総務	大牧 由弦	保健部長	水沼 美陽



## 税に関する作文で近畿レベルの受賞

納税貯蓄連合会が、毎年、「税に関する作文」を募集され、各校から多くの作品が応募された中、3年生の長野うたさんが、近畿税理士会賞を受賞しました。この賞は、各府県で1名ずつが選ばれるもので、その内容を高く評価されたものです。12月12日(火)に本校にて表彰がありました。

### 「森林環境税について」

南丹市立美山中学校 3年 長野 うた

2024年度から森林環境税という一人当たり1,000円の増税が実施される。これはパリ協定に基づいたもので、2019年から森林環境譲与税という市町村の自治体に森林の整備及び促進に使われる税金だ。



だが、今現在その税金の使い道がわからず有り余ってしまっている市町村が少なくない。ある地域では、その税金を使って森林を伐採し、太陽光パネルを設置した事例もあるそうだ。しかも余った額はなんと5割。使い方がわからないお金を譲与されても、うまく使えず無駄になってしまう。そしてもう一つ問題なのが人口に応じた配分が多いことだ。森林がなくても多額の譲与税が配分されてしまっている。もともとは、パリ協定の枠組みの下における日本の温室効果ガス排出削減や、災害防止のための森林整備に使うための税が、森林のない大都会に使われてしまうという本末転倒なことが起きてしまっているのだ。

こんな意見もある。ほとんどの市町村には、森林や林業の専門部署も人材もない。だから配分された税金の使い方がわからず、コンサルタントの言うままになったり、思いつきの木材利用しかできない。本当に林業や森林を役立たせるためには、そういう専門人材の育成や現場への配属から始めるべきだ。

私はこれらの意見に大いに賛成である。何もわからなくて、準備も整っていないところにお金をもらってもそうになってしまう。私は南丹市の森林環境譲与税の使い方として、環境保全、整備を行っている団体、もしくは事業に寄付をするというのが良いと考える。森の京都と呼ばれる自然豊かな南丹市は最近では映画撮影などにも抜擢されるほど有名になってきている。そんな自然を守るためにも自治体で行うよりかはその手の事業主や専門家、団体等と議論し、もっと良い活用方法を考えるべきではないだろうか。私は南丹市の中でも特に自然の豊かな美山町に住んでいて、都会に行った時にその自然の良さに改めて気付く。この自然のためにお金が出る機会がせつかくあるのに無駄に使ってしまうなんてことがないようにもっとたくさん議論して有効な活用の仕方を考えてほしい。そしてこの南丹市の自然が何十年後も

「きれいやなあ。」

と言えるようにこの機会を是非大切にしてほしい。

